

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。  
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

タイトル	<p>Enabling CDM in Asia and Pacific: ADB's renewable energy, energy efficiency and climate programme</p> <p>(アジア太平洋地域における CDM の実施 : ADB の再生可能、省エネ、気候変動プログラム)</p>																					
主催	Asian Development Bank (ADB)																					
日時	2005 年 11 月 28 日																					
主要討論者	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Mr. Toru Kubo (ADB)</li> <li>- Mr. Xuedu Lu (EB member)</li> <li>- Mr. Rajesh Kumar Sethi (EB member)</li> <li>- Mr. Wei Zhihong (Tsinghua University)</li> <li>- Mr. Chayun Budiono (ADB)</li> <li>- Mr. Jiwan Acharya (Winlock International Nepal)</li> </ul>																					
目的	18 カ国で実施されている ADB の REACH(Renewable Energy, Energy Efficiency and Climate Change)プログラムのケースの紹介。																					
発表の概要	<p>【Toru Kubo : ADB】ADB の CDM 事業について</p> <p>ADB は CDM に関して、プロジェクト開発者に対する能力構築(可能性の高い CDM プロジェクト及び適応型プロジェクト)、アンダーライニングファイナンス、CDM プロジェクト技術的支援を行っている。ADB は、Renewable Energy, Energy Efficiency and Climate Change (REACH)プロジェクトを、オランダ、カナダ、デンマーク、フィンランドからの基金により実施している。</p> <p>ADB の投資事業と CDM プロジェクトサイクルを統合化すると次のようになる。</p> <table border="1" data-bbox="411 1294 1439 1585"> <thead> <tr> <th></th> <th>ADB 事業</th> <th>CDM プロジェクトサイクル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステージ 1</td> <td>確認</td> <td>CDM スクリーニング</td> </tr> <tr> <td>ステージ 2</td> <td>準備</td> <td>データ収集、PDD 準備</td> </tr> <tr> <td>ステージ 3</td> <td>承認</td> <td>ホスト国承認</td> </tr> <tr> <td>ステージ 4</td> <td>ローン交渉、理事承認</td> <td>有効化審査、登録</td> </tr> <tr> <td>ステージ 5</td> <td>実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステージ 6</td> <td>評価</td> <td>モニタリング、検証、CER 認証 ステージ 1 に戻る</td> </tr> </tbody> </table> <p>これからの投資パターンの課題として、プロジェクトとクレジットの量が不足していること、アップフロントペイメントを考慮してもよい時期であること、アップフロントカーボンファンドはレヴァレッジファイナンスとして利用されるべきであること、などがあげられる。</p> <p>【Wei Zhihong : Tsinghua University】中国の PREGA のプロジェクトについて</p> <p>2020 年までの GDP4 倍達成に係る中国のエネルギー戦略として、石炭が主流を占めるエネルギーを多様化させること、クリーン・コアル技術を促進すること、石油と天然ガスのエネルギーセキュリティを確保すること、があげられる。</p> <p>PREGA(Promotion of Renewable Energy, Energy Efficiency and Greenhouse Gas Abatement)第 1 期では、20 都市において小規模 CDM のプレフィージビリティ調査を実施した。</p>		ADB 事業	CDM プロジェクトサイクル	ステージ 1	確認	CDM スクリーニング	ステージ 2	準備	データ収集、PDD 準備	ステージ 3	承認	ホスト国承認	ステージ 4	ローン交渉、理事承認	有効化審査、登録	ステージ 5	実施		ステージ 6	評価	モニタリング、検証、CER 認証 ステージ 1 に戻る
	ADB 事業	CDM プロジェクトサイクル																				
ステージ 1	確認	CDM スクリーニング																				
ステージ 2	準備	データ収集、PDD 準備																				
ステージ 3	承認	ホスト国承認																				
ステージ 4	ローン交渉、理事承認	有効化審査、登録																				
ステージ 5	実施																					
ステージ 6	評価	モニタリング、検証、CER 認証 ステージ 1 に戻る																				

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。  
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

	<p>PREGA 第 2 期では、フィージビリティ調査及び PDD 作成や、政策、障壁、戦略に関する国別報告書の準備を行う。</p> <p>2005 年 10 月 18 日現在で、中国には DNA が承認したプロジェクトが 8 つ、DNA が承認を検討しているプロジェクトが 3 つ、UNFCCC に登録されたものが 1 つ、登録申請を行っているものが 2 つ、有効化審査中のプロジェクトが 3 つある。</p> <p>中国は 2010 年までに 25～112Mt の CDM 市場でのポテンシャルがあり、世界の CDM 市場の半分を占めるだろう。これからの課題として、REGA プロジェクトを促進するための各地方の省の能力構築を推進することや、特に省エネ分野での REGA プロジェクトを早急に促進させること、などがある。</p> <p>【Chayun Budiono : ADB】インドネシアにおけるバイオマスエネルギーについて インドネシアでバイオマス利用のエネルギーが可能であるものとして、木材製材所、合板製材所、製糖工場、精米工場、パーム精油工場からのものがある。</p> <p>PREGA である木材製材所プロジェクトでのケーススタディでは、その目的を 3.5Me の木材利用のコジェネ発電を導入、100KW の木材ガス化ユニットを 20 導入するもの、とした</p> <p>ケーススタディの結果、小規模製材所からの廃材管理の改善と中規模の製材所でのビジネスの統合、製材業への費用対効果の高いエネルギー供給、製材機具に必要なディーゼル燃料の使用の減少、雇用の増加などをもたらすことができることが明らかになった。</p> <p>【Jiwan Acharya : Winlock International】ネパールにおける PREGA について PREGA 第 1 期(2004 年 10 月まで)では、REGA プロジェクトの機会の確認、障壁と政策アセスメントのレビュー、プレフィージビリティ調査の実施が行われ、ネパールでは国レビュー調査の報告書の作成と、カトマンズでのトローリーバスのプレフィージビリティ調査が行われた。</p> <p>PREGA 第 2 期(2005 年 12 月まで)では、追加的な調査、地方の投資機関に対する能力構築、パイロットプロジェクトを通じてこれまでの教訓の活用が目的であった。ネパールでは、以下の結果を得ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- PIN5 つ(かまどの品質改善、太陽光ランプ、レンガ製造、交通車両、LFG)</li> <li>- PDD1 つ(LFG)</li> <li>- プレフィージビリティ調査 2 件(電車のプロジェクトと水力発電による電力のインドへの送電)</li> <li>- 能力構築(DNA 設立と承認プロセス、政府・NGO に対する CDM トレーニング、カーボンフェア等)</li> </ul>
資料	-

文責：錦 真理 (GEC )